

豚熱（CSF）県内3例目の発生に係る原因究明等についての緊急要望

8月7日に確認された県内3例目の豚熱（CSF）発生に対し、殺処分の早期実施など県当局の迅速な対応に感謝申し上げます。

昨年CSF発生以降、知事からの積極的な働きかけにより、全国初の知事認定獣医師制度によるワクチン接種体制が整備されました。また、野生動物対策や衛生管理などについても、養豚県ぐんまを守るために重点的にCSF対策を講じられてきました。

しかし、今回3例目が発生してしまったことは、わずかな隙間も見逃さず入り込むウイルスの脅威に更なる危機感を抱いております。

このため、国の基準見直しを含め、県におかれましては、下記事項について、特段の対応をお願いしたく緊急に要望いたします。

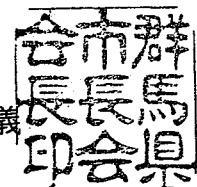
記

- 1 感染原因の究明とともに、科学的知見に基づいた子豚への適切なワクチン接種の時期や回数等、基準についての再検討
- 2 本県豚肉の安全性をPRすることなど、風評被害への迅速対応
- 3 野生イノシシへの経口ワクチンの更なる散布及び効果的な散布についての検証並びに改良型ワクチン開発等、野生動物の防除の徹底

令和3年8月11日

群馬県知事 山本 一太 様

群馬県市長会
会長 清水 聖義



群馬県町村会
会長 茂原 莊一

